
中国情報（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

2007年7月9日号

©2007年5月油糧・食用油市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2007年5月における油糧・食用油市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

1 1～4月の油糧輸入は増加、食用油輸入は大幅増

海関統計によると、1～4月の油糧の累計輸入量は、前年同期比3.1%増の878.2万トンで、うち大豆は同4.9%増の837.1万トン、菜種は同9.7%減の34.1万トンとなった。また、油量の累計輸出量は、同19.37%増の47.8万トンで、うち落花生は同19.9%増の25.8万トン、大豆は同30.5%増の17.5万トンとなった。

同じく食用植物油の累計輸入量は、前年同期比30.3%増の253.3万トンで、うちパーム油は同27.2%増の158.8万トン、大豆油は同15.6%増の79.2万トン、菜種油は同54.8倍の10.2万トンとなった。食用植物油の累計輸出量は、同42.1%減の6.6万トンとなった。

2 世界の油糧生産量は増加、食用油生産及び消費量も同様に増加

米国農務省（USDA）が5月に発表した予測によると、2006/07年度（2006年10月～2007年9月）における世界の油糧生産量は、前年度比3.1%増の4.03億トンと見込まれている。うち大豆が6%増、綿実が1.1%増、ヒマワリ子実が1.2%増と見積もられた一方、菜種は3%減、落花生は4.3%減と見込まれている。同じく油糧圧搾量は、前年度比4.5%増の3.32億トン、貿易量は同6.5%増の8千万トン、油糧の期末在庫量は6,834万トンと予測されている。

また、同年度の世界の植物油生産量は、前年度比4.3%増の1.23億トンと予測されている。うち大豆油が4.6%増の3,582万トン、菜種油が6.2%増の1,824万トン、パーム油が4.8%増の3,767万トン、ヒマワリ油が3.3%増の1,073万トン、綿実油が3.5%増の473万ト

ンと見積もられた一方、落花生油は3.7%減の498万トンと見込まれている。同じく植物油消費量は、同5.7%増の1.22億トンと予測されている。

3 新収穫の菜種価格は高値で始まり高水準で推移、食用油価格は明らかな上昇

今年は、菜種生産量が減少したのに対し需要が堅調に増加したことに加え、国際菜種価格が高水準で推移しているため、国内で新たに収穫された菜種が販売された後の市況は、高値で始まり高水準で推移している。食用油については、国際大豆油・パーム湯及びその他農産物の先物価格が全体的に高騰していることから、引き続き国内の食用油価格は大幅に上昇した。

【菜種】5月末の四川省の菜種販売価格は、1斤（約500g）当たり1.90～1.92元、貴州省では同1.72元、湖北省では同1.65～1.70元、湖南省では1.70元、安徽省では同1.70～1.85元、江蘇省では1.82～1.85元まで上昇した。昨年の新収穫の菜種販売価格に比べ、50%前後の高騰となった。

【落花生】5月末の鄭州市（河南省の省都）の食糧卸売市場における2級落花生の卸売価格は、ほぼ前月並みの1トン当たり7,250円で、前年同期比24%高となった。新収穫の落花生販売前の国内落花生の市況は、依然として強含みと予測されている。

【大豆油】5月末の山東省の4級大豆油の工場出荷ベースのオファー価格は、1トン当たり8,400元、同じく黒龍江省では8,500元であり、前年同期比65%前後の高騰となった。

【菜種油】5月末の江蘇・浙江省地区の「新菜種油」の工場出荷ベースのオファー価格は、前年同期比65%高の1トン当たり8,500～8,600元となった。

【落花生油】5月末の福建省廈門市の2級落花生油の卸売価格は、前年同期比18%高の1トン当たり12,600元、江蘇省新沂市では同6%高の11,000元となった。

【パーム油】5月末の天津港のパーム油（融点24℃）のオファー価格は、1トン当たり8,120～8,150元、広州港では8,150～8,200元となり、前月比22%高、前年同期に比べ80%高となった。

4 油糧・食用油の国際価格は上昇、輸入菜種価格は国内より高値

大豆の輸入需要が強いことや、バイオディーゼル油需要が引き続き増加していることなどから、5月のシカゴ取引所における大豆油先物価格は大幅に上昇した。大豆の国際先物価格も上昇の勢いが衰えない一方で、播種面積の減少が予測されていることから、菜種価

格は上昇するものと見込まれている。5月下旬における7月出航予定のカナダ発中国向け菜種のCNF（C&F価格、1990年の国際商業用語改正後はCFR価格：運賃込み価格＝FOB価格＋運賃）は、前年同期比38%高の1トン当たり417ドルとなった。南米の未精製大豆油価格は同41%高の795ドル、マレーシアのパーム油（融点24℃）価格は同72%高の782ドルとなった。通関渡し価格（Duty Paid：CIF＋関税等）を計算すると、輸入菜種価格は国内の江蘇・浙江省地区の価格に比べて1トン当たり730元前後高く、一方、輸入大豆油価格は山東省の価格に比べて同700元前後安くなっている。